

# 評価結果概要版



平成28年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	社会福祉法人立川市社会福祉協議会
事業所名称	立川市社会福祉協議会デイサービスセンター
事業所所在地	東京都立川市富士見町2丁目36番47号
事業所電話番号	042-529-8396

## 事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	<p>1)活動理念 「誰もがふつうにらせるしあわせなまち立川」の実現</p> <p>2)使命 「住民主体による福祉コミュニティづくり」</p> <p>3)基本方針</p> <p>本会は、地域の福祉課題、住民の生活課題の把握に努め、その課題解決のために専門性を発揮するとともに公私の関係者と連携・協働した対応を行います。</p> <p>本会は、人としての尊厳の保持、利用者本位を念頭に活動を行います。</p> <p>本会は、社会環境の変化に伴う住民ニーズに対応するため、活動の重点化と柔軟なサービス提供を行います。</p> <p>本会は、法令を遵守し、情報公開、説明責任を果たし、あわせて高い倫理観に基づく公正中立な事業活動を展開します。</p> <p>本会は、運営基盤の強化を図り、市民が満足、納得する事業展開と活動を行います。</p>

## 全体の評価講評

<p>特に良いと思う点</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手工芸活動が多様多彩に行われており、作品展を通じて利用者の創作意欲を引き出し家族や友人等との交流が深まっている</li></ul> <p>事業所はパンフレットに、手工芸活動は「当デイサービスで最も得意とする活動です」と自負している通り、多様な手工芸活動が行われている。年数回、作品展を開催するという実績を持っており、最近では5日間にわたる作品展を行った。作品展を通じて利用者の創作意欲がさらに掻き立てられるとともに、利用者と家族、知人・友人等との交流が行われる場となっている。ケアマネジャーからは「手工芸は高品質で利用者さんにも喜ばれています。手芸好きな方はまずは社協さんを進めています。」との声が寄せられている。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・常勤の理学療法士の配置により介護職と連携した生活リハビリの実践が図られ、利用者の生活の質向上に向けた取り組みが進んでいる</li></ul> <p>常勤の理学療法士の配置が3年前からされており、利用者の生活に密着した個別機能訓練加算の取得がされている。リハビリ＝マッサージというイメージを取り払い、階段を使った訓練や施設外に出て歩行訓練をする等、在宅生活を支援するため出来るだけ自宅での環境を意識したりリハビリを実施している。デイサービス内での動きは全て生活リハビリと捉え、排泄や食事、移動、入浴、椅子上での姿勢にも理学療法士と介護職が連携して自立支援の視点で実施しており、利用者の生活の質向上に役立つ支援を提供している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・運転に関わる職員の研修制度が確立しており、毎日の安心で安全な送迎の実施に繋がっている</li></ul> <p>運転業務に携わる職員は現在5名おり、3台の送迎車の運転を行っている。運転員の育成は、事業所での業務指導以外にドライビングスクールで専門職による講習を受ける事となっている。年に1人ずつ持ち回りで受講し運転に関わる職員全員が受講している。受講内容は適性検査、実技指導、運転マナー研修の新人用プログラムが提供されており、運転に必要な技術の育成が行われている。デイサービスにとって送迎は不可欠な業務であるも、最も危険な業務</p>
--

でもある。安心で安全な送迎の実施の為に、重点的に研修制度を設けている事は大変評価できる。

さらなる改善が望まれる点

**・禁食やアレルギーなど利用者の状態に合った献立の提供が出来ない現状に対し、事業所としての更なる工夫・努力が求められる**

昼食は事業所内に調理設備が無いため、外部の配食業者による弁当が提供されている。3つの業者が週替わりで配達する方法が取られ利用者に飽きられないよう工夫している。食形態は粥、ミキサー食、刻み食、一口大への変更は可能となっている。しかし、アレルギーやカロリー制限、塩分制限がある場合の代替食が無く個別に食材を取り除き、そのまま提供されている。また、食事は利用者が食べる頃には冷たくなってしまっている。自施設調理ではない事の影響は大きいですが、利用者にとって楽しみである食事に対し事業所としての更なる努力や工夫が求められる。

**・利用者と情報を共有する機会を設け、利用者のニーズを踏まえて話し合う場を設けることが期待される**

事業所は法人が運営する市総合福祉センターの一角にあり、地域の情報を得やすい条件下にある。しかし、職員の自己評価では利用者が地域との連携のもとに利用者の生活の幅を広げる取り組みが弱いとする結果となっている。市が地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいること、今回の介護保険制度改定により通所介護事業所が、地域連携の拠点としての機能を展開できるようになったこと等の状況を踏まえて、利用者等と情報を共有する機会を設け、利用者等のニーズを踏まえて話し合う場を設けることが期待される。

**・非常勤職員の戦力化のために研修等への参加を強め、目標統合の対象として位置づけることが求められる**

事業所は職員に占める非常勤職員の割合は約8割であることから、事業運営上、非常勤職員の戦力化が欠かせない。しかし、事業所はサービス提供時間との関連で早番、遅番等変則勤務を組まなければならない勤務シフトになっていることから、理念の周知徹底や知識とスキルの向上のための研修等の参加が不十分となっている。また、人事制度に位置づけられている目標統合の取組みから外れている。非常勤職員の戦力化の視点から研修への参加が促進できるようあり方を見直すとともに、目標統合の対象として位置づけることが求められる。

## 事業者が特に力を入れている取り組み

**・利用者個々にプログラム提供が可能となり、そのことを通所介護計画に結実させている**

事業所は外部の専門講師による健康体操や音楽療法、書道、本格的なカラオケ機器を導入してカラオケはもちろん口腔体操や全身体操、年数回、作品展を開催する実績を持つ手工芸活動、その他、野菜作りや麻雀、おやつ作り等の多様な多彩なプログラムがある。また、事業所は今後、認知症プログラムや個別リハビリを更に充実させることを重要課題としている。よって、事業所は専門スタッフによるアセスメントによって、利用者個々に応じた支援の方向性や目標を明らかにすることが出来、通所介護計画書に結実させることが出来ている。

**・BCPを策定するとともに、災害時の参集訓練や食料品の備蓄を行っている**

法人は平成28年度にBCP（災害時事業継続計画）を策定するとともに、食料品を備蓄している。また、災害時の参集訓練の実施や市内の社会福祉法人に呼びかけ福祉避難所の設置と運営等について協議を進めている。事業所は総合福祉センターの避難訓練に参加するとともに、事業所の浴室出火を想定した避難訓練、防災・避難経路、消火器の確認をテーマに研修会を行っている。ただ、今回の職員自己評価結果では、災害対応マニュアルの職員の理解、利用者・家族への伝達が不十分なことが窺える。災害対応マニュアルの周知徹底が求められる。

**・医療系職員の充実により利用者の状態に合った対応が出来ている**

事業所には毎日看護師が2名配置できる体制が整っており、健康チェック、服薬管理、感染症予防、家族への情報提供、健康に関する相談等、緊急時だけでなく日頃から利用者の健康管理に細かい配慮がされている。介護職との連携により利用者の様子の変化に速やかで適切な対応を心掛けている。また、常勤の理学療法士が配置されており、医療面での連携で状態に応じた機能訓練の実施が出来る事は大変心強い。しかし一方で医療系職員の充実が利用者の獲得に十分に活かされていないと思われ外部機関への積極的な情報の提供が望まれる。

## 利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

30/70

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	90.0%			
	どちらともいえない：3.0% いいえ：3.0% 無回答・非該当：3.0%			
2. 食事の献立や食事介助は満足か	80.0%	13.0%	6.0%	
	いいえ：0.0%			
3. 利用者が必要と感じた介助が提供されているか	86.0%	6.0%	6.0%	
	いいえ：0.0%			
4. 利用中の楽しみな行事や活動があるか	83.0%	6.0%	10.0%	
	いいえ：0.0%			
5. 個別プランに基づいた事業所の活動・リハビリは、家での生活に役立つか	60.0%	26.0%	6.0%	6.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	93.0%			6.0%
	どちらともいえない：0.0% いいえ：0.0%			
7. 職員の接遇・態度は適切か	73.0%	13.0%	13.0%	
	いいえ：0.0%			
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	83.0%			13.0%
	どちらともいえない：0.0% いいえ：3.0%			
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	56.0%	10.0%	6.0%	26.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	76.0%	10.0%	13.0%	
	いいえ：0.0%			
11. 利用者のプライバシーは守られているか	70.0%	10.0%	16.0%	
	いいえ：3.0%			
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	70.0%	6.0%	20.0%	
	いいえ：3.0%			
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	73.0%	10.0%	16.0%	
	いいえ：0.0%			
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	63.0%	6.0%	26.0%	
	いいえ：3.0%			
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	53.0%	13.0%	10.0%	23.0%